というのは寂しいものです。ですが、一人旅なら自分のペースで旅程を組んでどのように計画を変更しても構わないので、旅の自由度が一気に増すことになります。

早速タスマニアの空港でキャンピングカーを借りた私は、「今日はずっと移動で疲れて眠たいからキャンプはやめてホテル泊にして、タスマニアオイスターをアテに地元産ワインで酔っ払って、さっさと寝てしまおう」と、アウトドアマンとしての矜持をあっさり捨てて、堕落ダメオヤジ路線を真っすぐ突き進むことに決めたのです。

そんな感じで初日はゆっくりと街中のクラシカルなホテルで過ごした私は、翌日からは本格的にタスマニア島内を巡り、スーパーでタスマニアビーフと地元産ワインとビールを大量に買い込み、島内のキャンプ場でひとり音楽を聴きながら、自分の将来についてじっくり考える時間を得ることができました。折しも、旅立つ数日前に〝会計事務所事業承継相談会〟なるものに参加して、「ワシもそろそろ税理士業の引退を考えないといかんのぉ」と思いはじめていたところだったので、その時間は私にとってとても有難かったのです。

ところがその翌日、LAから戻って島の北部のちっぽけな空港で私と合流した息子はまさに人生の過渡期の真っただ中にあり、アメリカでの話などもあって、私は自分のことを考えるどころか、すっかり息子の話の聞き役に徹することになってしまいました。しかしそれはそれ、私にとってもとても楽しい時間でもありました。

タマタマ今回は私も息子も「これからどうやって生きて行こうか」なんて考えているタイミングでもあった訳ですが、結局のところ最後には自分のことは自分で決断をして、その決断した結果に対する責任を自分で負うしかないのです。それは私が好む一人旅と同じで、自分の身に降りかかる面倒事をすべて自分で受け止める覚悟のもとで、自分がしたいように好きにすれば良いのです。

そのことは多分息子もよく理解しているはずで、渡豪して以来滅多に口出しをしない父親とキャンプ場でビールを飲みながら、「とーちゃんが何を言おうが好きにさせてもらうわ」と思っていることは、好き勝手に生きさせてもらっているとーちゃんの方もちゃんと分かっているのです。

Akira Saito

昭和40年生まれ。神奈川県出身。平成15年税理士登録（東京税理士会京橋支部）。齋藤明税理士事務所所長・日本税務会計学会経営部門常任委員・医療法人研水会監事。ブログは「波乗り税理士・波に乗れるか？」http://blog.livedoor.jp/saiaki555/

【近況】強風が吹き荒れる中、自宅の窓の外では杉の木の枝から黄色い粉がブワ～と舞っているのが見えるのです。それを見て花粉症の私は、どこかに疎開したいと本気で考えてしまうのです。